

流通合理化事業活動の概要



事業者：名古屋西流通センター株式会社

計画概要

物流の2024年問題に対応し、遠隔地からの青果物を消費地に安定的に届けるためにコールドチェーン機能を備えた中継共同物流拠点を整備し、中部・北陸圏の卸売市場と連携した共同輸配送、西日本と東日本を繋ぐ中継輸送に取り組み、物流の効率化と取扱金額増加を目指す。

目標

当該施設を活用した中継輸送、共同輸配送を推進することで、目標年度（令和12年度）において、集荷数量を43,000 t（うち中継輸送 30,000 t）まで増加させる。

食料システムへの寄与

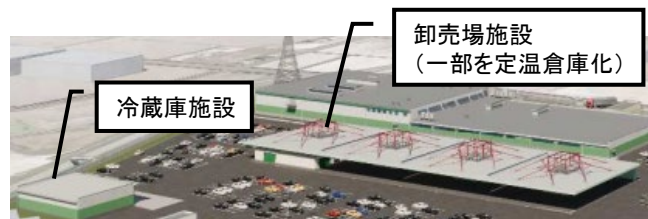
生産者に対しては、産地からの幹線輸送に対応した中継共同物流拠点を活用し、より遠隔地からの安定供給や販路の拡大が可能となり、また、コールドチェーン流通を行うことで品質面でも評価向上が見込まれる。

一方、消費者に対しては、全国の多種多様な品目の提供が可能となり、合わせて定温・保冷施設の活用による品質管理により、多様化したニーズに継続的に対応できることから満足度の向上に資する。

計画のイメージ



市場と近隣県等との位置関係



コールドチェーンを確保した中継共同輸配送の機能を整備

(2026年7月30日変更)
(2025年11月28日認定)